

戦後70年企画 沖縄支援・連帯ツアーのご案内

「オール沖縄」の状況を正しくつかもう

沖縄になぜ米軍基地が集中するのか

何が出来るか、支援・連帯

=== 沖縄にご一緒しませんか ===

ツアー要領

1. ツアーの特色：最大の特色はこれまでになかった、那覇市県庁まえでの宣伝行動を組み入れたことです。沖縄の民主団体と一緒にいきます。
その他、嘉手納・普天間他の基地視察、辺野古・高江の人たちとの交流、観光と多彩ですがゆったりした企画にしました。
2. 日時：2015年9月27日（日）～30日（水）3泊4日
第1日目：現地学習と懇親会 **那覇市泊**
① 羽田発11：05～那覇着13：40
② 現地学習：琉球新報社ないし沖縄タイムズ社の方による。
③ 参加者全員の夕食懇親
第2日目：宣伝行動と米軍基地視察 **名護市泊**
① 県庁前宣伝行動（出勤時1時間程度）
② 基地視察：普天間・嘉数高台～嘉手納基地～その他
③ 世界2番目に大きい「美ら海水族館」
第3日目：たたかう仲間とともに **那覇市泊**
① 高江ヘリパット連帯・交流
② 辺野古連帯・交流
最終日：**亀さんを忍んで・自由行動**
① 瀬長亀次郎、「不屈館」見学
② 公設市場・国際通りで自由時間（お土産と昼食）
③ 那覇発14：35～羽田着17：05 羽田解散
状況により多少の変更がある事をご了承ください。
3. 費用：7万円（3日間のバス代、水族館入場料など含）
プラス支援カンパ（自主的）
4. 参加者全員の事前学習会を行ないます。詳細は別途お知らせします。
5. 現地ガイドは沖縄県平和委員会および添乗員が同行します。
6. 申込先：茨城県平和委員会または地域の役員

TEL・FAX 029-251-2806

主催：茨城県平和委員会

よびかけ

沖縄のこころを日本の平和に

「他人に痛めつけられても寝ることはできるが、他人を痛めつけては寝ることはできない。」「これは沖縄の人のこころを表わす諺です。ここに沖縄の人びとの平和にたいする原点があります。」

沖縄地上戦では県民の4人に1人が犠牲になりましたが、それ以上に沖縄の人びとの心を痛めているのは米軍基地から飛び立つ戦闘機が、朝鮮戦争、ベトナム戦争、イラク戦争で多くの人々を殺傷してきたことです。米軍基地の存在は沖縄のこころを突き刺しています。「命は宝」は抵抗の言葉です。

戦後70年、軍事的植民地の沖縄

本土と違って沖縄は終戦と同時に住民は土地を取り上げられ基地が作られ、以後27年間アメリカの軍事占領下に置かれます。1972年日本憲法のもとに「復帰」します

が米軍基地はそのまま残ります。いま、県民の83%が反対する辺野古基地及び高江ヘリパット建設が強行されています。正に沖縄は日米両政府による「軍事的植民地」です。「蔑視と差別」、沖縄にとって屈辱以外の何ものでもありません。

沖縄の怒り

アメリカ政府に跪き「集団的自衛権行使」を策する安倍政権。県民が嫌がる基地建設。民意無視・人権無視。米軍基地が74%集中する沖縄県。政府はごまかして沖縄を苦しめるのか。いま沖縄では、不死鳥のこころ「オール沖縄」総ぐるみでたたかいが巻き起こっています。沖縄の怒りは国民の怒り。日本の民主主義の問題です。

沖縄の人々の犠牲の上に日本の平和はありません。

今回、沖縄の現状とたたかいをこの目で確かめ、改めて支援と連帯を深めるツアーを企画しました。多くの方々の参加をお願いします。

二〇一五年 七月

茨城県平和委員会